**16 『篁物語』**

さて、この女、願ありて、(ア)如月に、にりけり。に、人多くもあらで、とな二人、二人ぞ、ありける。おとなはいろいろの、二人は同じ色をなん、着たりける。は、のかいりのがさね、のうすものの着て、花染めの綾の細長折りてぞ、着たりける。髪はうるはしくて、たけに一尺ばかりあまりて、つきいと清げにて、顔もあやしくには似ず、めでたくなんありける。の童三四人、ては、ことぞ、ありける。ほにはあらⓐねど、先立ちおくれて来ける。①でざまにじにければ、兄いとほしがりて、「にかかりへ。」とて寄りければ、「いで、いないな。」と言ひて、道中ににけり。さる程にばかりの人、かたち清げにてばかりなりけるが、②詣であひて、へさに、女の道に(イ)ゐたる、「あな、くるし。③かくてやは、で立ち給へⓑる。」ものみして、申すに、「作りて、このたりなるさきのみねにすゑらん。女の身には大王、みかどにはをかをと。」と言ふ程に暮れⓒぬればりごさがして食はせんとするに、この佐をやりすぐす。この、休むやうにて、降りて、

人知れぬ心だすの神ならば思ふ心をそらに知らなん

返し、

にもあだねすゑぬ神は知ることし人の心を

またもおこせけれど、この兄、いそがして、車に乗せて、(ウ)ゐて去ぬ。

語　注

初午＝初の午の日。

おとな＝女房。

君＝女を指す。篁の妹。

細長＝女性や貴族の子供が着た着物。

さては＝そのほかに。

兄＝女（君）の兄の篁。

まほに＝直接（すぐそば）。

兵衛佐＝兵衛府の次官。

年廿ばかり＝二十歳くらい。

かへさ＝帰る時。

わたり＝あたり。

木さきのみね＝詳細は不明。稲荷神社あたりにあった地名か。

わりご＝食べ物を入れる容器。弁当箱。

ただすの神＝京都のの森の神。「ただす」（する）と掛けている。

きね＝神に仕える人。

石神＝道端に祭られる神。

問1　波線部(ア)の読みと、何月（陰暦）を指すかを答えよ。　　（完答で4点）

〔　　　　　　〕　〔　　　　　月　〕

問2　波線部イ・ウをそれぞれ漢字に改めよ。（4点×2）

(イ) 〔　　　　　　〕　(ウ)〔　　　　　　〕

問3　二重傍線部ⓐ～ⓒの助動詞の、本文中での意味をそれぞれ次から選び、また、活用形を答えよ。（3点×3）

ア　完了　　イ　過去　　ウ　尊敬　　エ　並列

オ　打消　　カ　使役　　キ　受身　　ク　断定

　助動詞 意味 活用形

ⓐ　ね　　〔　　　　　　　〕　〔　　　　　　　〕

ⓑ　る　　〔　　　　　　　〕　〔　　　　　　　〕

ⓒ　ぬれ　〔　　　　　　　〕　〔　　　　　　　〕

問4　傍線部①・③の解釈として最も適当なものを、それぞれ次から選べ。（6点×2）

①　「詣でざまに困じにければ」

　ア　（女が）の途中で疲れてしまったので、

　イ　（おとなが）参詣の途中で困ってしまったので、

　ウ　（童が）参詣の途中で疲れてしまったので、

　エ　（女が）参詣の途中で困ってしまったところ、

　オ　（おとなが）参詣の途中で疲れてしまったところ、

　〔　　　〕

③　「かくてやは、出で立ち給へる」

　ア　このように徒歩で、ご出発なさったのか。

　イ　このように徒歩で、ご出発なさったということだ。

　ウ　このように徒歩で、ご出発なさったのだなあ。

　エ　このように徒歩で、ご出発なさってはいけない。

　オ　このように徒歩で、ご出発なさったのか。（いや、ご出発なさったわけがない）

〔　　　〕

問5　傍線部②とあるが、だれとだれが出会ったのか。解答欄の字数に合わせて本文中から抜き出せ。（7点）

〔　　　　　　（３字）〕と〔　　　　　　　　　　　　　　　　（８字）〕が出会った。

問6　本文の内容に合致するものを次から一つ選べ。（10点）

ア　女は、稲荷に大勢の人を従えて参詣した。

イ　君の顔はみすぼらしく、世の人と似ていた。

ウ　君の兄の篁は、参詣の途中で疲れてしまった。

エ　兵衛佐くらいの男は、年齢が二十歳くらいであった。

オ　この兄は、兵衛佐を車に乗せ、去っていった。

〔　　〕

練習問題〈連用形接続の助動詞〉

次の傍線部の助動詞の意味を、それぞれ後から選べ。

①　などみな出でたまひぬ。 （　　　　）

②　早うありし者どものほかほかなりつる、 （　　　　）

③　ちごなくなりたる産屋。 （　　　　）

④　清げに書きてやりつる文の返りごと、 （　　　　）

⑤　おはしまさざりけり。 （　　　　）

⑥　田舎だちたる所に住む者どもなど、 （　　　　）

⑦　かかる目見むとは思はざりけむ。 （　　　　）

⑧　こそにくき物のうちにいれつべく、 （　　　　）

ア　過去　　イ　詠嘆　　ウ　完了

エ　強意　　オ　並列　　カ　存続

キ　願望　　ク　過去推量

【解答】

問1　きさらぎ・二月

問2　(イ)居　(ウ)率

問3　ⓐオ・已然形　ⓑア・連体形　ⓒア・已然形

問4　①ア　③ア

問5　この女（と）兵衛佐ばかりの人（が出会った。）

問6　エ

【練習問題解答+口語訳】

①ウ《公卿たちなどみな（宮中から）退出してしまった。》

②ア《以前いた人たちで、別々になっている者、》

③ウ《赤ん坊の死んでしまった産屋。》

④ウ《きれいに書いて送った手紙の返事、》

⑤ア《いらっしゃらなかった。》

⑥カ《田舎めいている場所に住む人たちなど、》

⑦ク《このような目を見るだろうとは思わなかっただろう。》

⑧エ《蠅こそがうとましい物のなかに入れてしまいたく、》